

事例紹介(1)

福島県内の旅館・ホテルと、浜通りの漁業・水産関係者を結ぶ商談会を開催

福島県内の宿泊施設500軒が加盟する福島県旅館ホテル衛生同業組合の「ふくしまDC」施策プロデュースを受託。震災と原発事故の影響で途絶えてしまった「常盤もの」の県内販路の復活を目指した商談会を企画運営しています。

- 7月29日(火)福島会場(土湯温泉ホテル山水荘)
- 8月19日(火)いわき会場(いわきラブ)
- 9月 9日(火)会津会場(会津文化センター)

福島 NEWS WEB

海産物の“常盤もの”販路拡大に向けて商談会 福島

07/29/2024 15:00



水産物と旅館ホテルの「常盤もの」の復活を期して、県内の旅館ホテルと水産物の関係者を結ぶ商談会が開催された。

この商談会は、旅館ホテルの経営者や、水産物の関係者など、約50名が参加した。

商談会の目的は、旅館ホテルと水産物の関係者を結ぶことで、常盤ものの販路拡大を図ることにある。

商談会では、水産物の関係者から、常盤ものの現状や、今後の取り組みについて、旅館ホテルの経営者に説明があった。

また、旅館ホテルの経営者から、常盤ものの需要や、今後の取り組みについて、水産物の関係者に説明があった。

商談会では、水産物の関係者から、常盤ものの現状や、今後の取り組みについて、旅館ホテルの経営者に説明があった。



↑いわき会場商談会の模様

↑NHK福島放送局

事例紹介(2)

浜通りの産品を企画・販売する地域商社人材を育成するセミナーを開講



福島相双復興推進機構の事業として、被災12市町村に「地域商社」を立ち上げる人材を育成するセミナーを開講しています。

講座の企画運営は二本松市で地域商社「あきんど」を運営する廣田氏など実績のある方々と連携。セミナーは「地域商社立ち上げコース」と「商談会実践コース」に分かれており、8月から1月まで全4～5回のカリキュラムで学びを深めます。

- 第1回講座 8月20日(水)
(小高パイオニアビレッジ)

